

第19回 全国研究集会 in 秋田

2006年7月15日(土)～17日(月、祝)

歴史の岐路に、文学はどのように向き合うか

【シンポジウム】

「今、文学に何が求められているか」

日本文学の現状と民主主義文学に求められているもの。

パネリスト : 乙部宗徳(問題提起)

青木陽子、牛久保建男、能島龍三、吉開那津子

コーディネータ : 平瀬誠一

【分科会】

現実を、リアルタイムで描くこと	丹羽 郁生	
時代の青春をどう描くか	和田 逸夫	
女たちの生を、どう映し出すか	旭爪あかね	
松田解子は現代に何を語るか	工藤 一紘	
書き始めた人たちと考える	文学とは、小説とは	稲沢 潤子
いま、批評に求められるものは	新船海三郎	

【会場】 温泉ゆぼぼ(たざわ湖芸術村)

秋田県仙北市田沢湖卒田字早稲田 430

【参加費】4,500円 【宿泊費】30,000円(2泊5食、交流会費をふくむ)

お問い合わせ、お申し込みは **日本民主主義文学会**

電話 03-5940-6335 FAX 03-5940-6339

E-mail: info@minsyubungaku.org